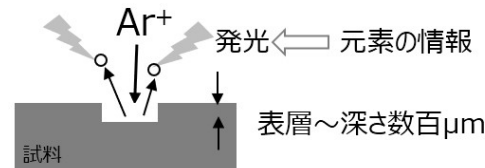


「グロー放電発光分光分析装置」の紹介

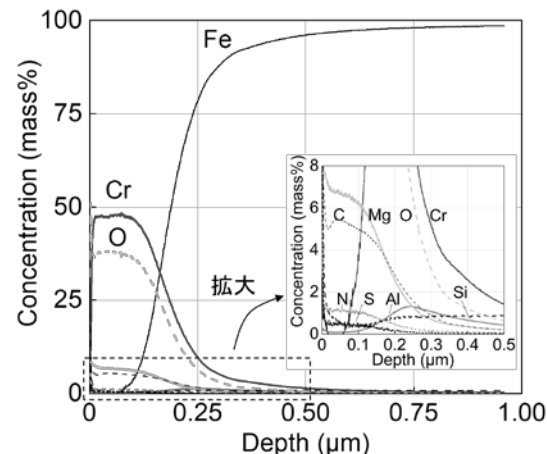
試料表面から深さ方向への元素の分布を分析する装置です。イオンで試料表面をスパッタリングし、発光波長から元素の種類を特定します。スパッタ時間(横軸)-発光強度(縦軸)のデータが得られ、検量線があれば、深さ(横軸)-濃度(縦軸)の表示に変換することも可能です。多層薄膜電極、めっき、アルマイト皮膜、金属上の塗膜等の層構造の分析に利用されます。



装置全体



分析原理模式図



ケイ素鋼板の深さ方向分析結果

メーカー・型式

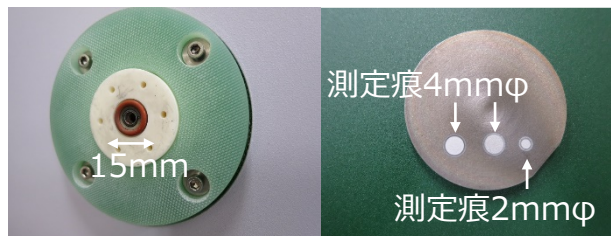
- メーカー
株式会社堀場製作所
- 型式
GD-Profilier2

主な仕様

- 分析径：4mmφ、2mmφ
- 測定元素範囲：H～U
- 測定チャンネル：45
- 深さ方向分析：
検量線があれば濃度-深さ表示可能
- パルススパッタによる低ダメージ、
高分解能測定

費用 (括弧内は県外申請者) R3年度現在

- 設備利用
4,640円(6,960円)/1時間
- 依頼試験
5,510円(8,260円)/1測定

試料取り付け部
(試料はOリングに吸着)測定痕4mmφ
測定痕2mmφ